

スマートアグリ戦略セミナーのご案内

～北海道のスマートアグリ推進戦略の現状と展望～

【開催趣旨】

本道の農業は広い農地を生かした低コスト生産が行われ、我が国最大の食料供給地域として重要な役割を担っています。スマート農業は、国の食料・農業・農村基本計画(平成27年3月)においてロボット技術やICTを活用した超省力生産、高品質生産を実現する次世代農業として位置づけられました。

平成28年6月、スマート農業の推進を共通の目的として農機やICTなど幅広い分野の企業、農業生産者や農業団体、経済団体、大学、研究機関、行政機関など多くの方々の参画を得て「北海道スマート農業推進協議体」が発足し、様々なイベントや情報発信を行っています。そこで、この度この協議体の活動を含めた北海道のスマート農業戦略について、北海道農政部の大塚主幹や北海道大学の石井准教授を始め産学官の関係者を迎えて下記の要領でセミナーを企画致しました。皆様方におかれましてはご多用の折とは存じますが、多数ご出席賜りますよう宜しくお願い致します。

記

■日時：2016年7月27日(水) 13:30～16:00

■会場：株式会社岩崎 5F 大会議室

〒060-0034 北海道札幌市中央区北4条東2丁目1番地

■プログラム

13:30 開会の挨拶

13:35～14:15

講演1：「北海道におけるスマート農業の推進について」

北海道農政部生産振興局技術普及課主幹 大塚 真一氏

14:15～14:55

講演2：「北海道における地域ICT農業の取組みについて」

北海道大学大学院農学研究院生物生産工学分野教授 石井 一暢氏

14:55～15:00 休憩

15:00～15:20

講演3：「岩見沢地域における地域ICT農業の現状」

株式会社スマートリンク北海道 常務取締役 小林 伸行氏

15:20～15:50

講演4：「UAVを活用した精密農業の事例」

株式会社岩崎 企画調査部精密農業チームリーダー 金子 和真氏

15:50～16:00 質疑応答

■参加費：一般3,000円、主催・共催団体会員・官公庁 2,000円(資料代込) 定員50名

参加費振込先：北洋銀行 本店営業部(普) 1822587 北海道産学官研究フォーラム 宛

■主催：北海道産学官研究フォーラム/北海道GIS・GPS研究会

共催：特定非営利活動法人Digital北海道研究会、産学官CIM・GIS研究会

後援依頼先：北海道、北海道高度情報化農業研究会、(一社)日本写真測量学会北海道支部

■連絡先：北海道産学官研究フォーラム/北海道GIS・GPS研究会 (藤原)

〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6-1 ストックマンション札幌 507号室

TEL 011-374-6836 FAX 011-299-5070 E-mail:tasuya.fujiwara@gmail.com

参加申込書

申込み先：北海道産学官研究フォーラム/北海道GIS・GPS研究会：(担当：藤原)
FAXにてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信してください。

FAX : 011-299-5070

E-mailにてお申込みの場合は、必要事項を記入して送信してください。

E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com

電話にてお申込みの場合は、下記番号におかけ下さい。

TEL : 011-374-6836

2016年7月27日 (水)「スマートアグリ戦略セミナー」に参加します。

ご所属 (会社・団体等)	役職名	氏名

e

申込み期限：2016年7月25日(月)

【ご担当者】

所 属： _____

ご担当者： _____

住所 _____

Tel: _____

E-mail: _____

注1・E-mailアドレスをお持ちの方は、連絡を行う場合がありますので必ずご記入お願いします。

注2・上記情報につきましては、当研究会の連絡以外に使用いたしません。

第9回 産学官 CIM・GIS セミナーのご案内

～i-Construction の概要と取り組み事例について～

我が国は今後 10 年間で高齢化等による労働力の大幅減少が避けられない環境にあります。特に労働力不足が顕著な建設現場においては、こうした人手不足を解消し、生産性の向上を図るためには ICT を活用した自動化・ロボット化が不可欠です。i-Construction は調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新までの建設プロセスにおいて ICT を活用することで抜本的に生産性を向上させる重要な施策です。この度、国土技術政策総合研究所・社会資本施工高度化研究室長の森川博邦氏を迎えて国土交通省の目指す施策の概要を伺うとともに、民間企業の取組や維持管理に関する応用、更にドローンの導入に関しても専門の皆様からお話を伺います。皆様方におかれましては、ご多用折とは存じますが、多数ご出席賜りますようお願い致します。（尚、講師は都合によって変更する場合がありますので、ご了承下さい。また、この度のセミナーは（一社）建設コンサルタンツ協会継続教育（CPD）プログラム登録講習の予定です。）

記

【日 時】平成 28 年 8 月 4 日（木）13:30～16:30

【会 場】札幌コンベンションセンター 204 会議室

〒003-0006 札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1 TEL 011-817-1010

【プログラム】

- 13:30～13:35 趣旨説明
- 13:35～14:25 「国土交通省が目指す i-Construction の概要」
国土技術政策総合研究所 社会資本施工高度化研究室長
森川 博邦氏
- 14:25～15:10 「ライカジオシステムズが実現する i-Construction」
株式会社ライカ・ジオシステムズ
営業支援本部マネージャー 田中 克治氏
- 15:10～15:15 休憩
- 15:15～15:50 「インフラ維持・管理・更新・マネジメント技術の事例紹介」
北海道大学大学院情報科学研究科教授 金井 理氏
- 15:50～16:20 「土木・建築現場へのドローン・システムの導入について」
HELICAM 株式会社 代表取締役 丹野 宏柄氏
- 16:20～16:30 質疑応答

【参加費】一般 3,000 円、主催・共催団体会員・官公庁職員 2,000 円

【参加費振込先】北洋銀行 北 7 条支店（普通）4034121 産学官 CIM・GIS 研究会 宛

【主 催】産学官 CIM・GIS 研究会

【共 催】産学官研究フォーラム/北海道 GIS・GPS 研究会（特非）Digital 北海道研究会

【後援依頼】（一社）建設コンサルタンツ協会北海道支部（一社）北海道測量設計業協会

（公社）土木学会北海道支部（一社）北海道建設業協会

（一社）日本写真測量学会北海道支部

【連絡先】産学官 CIM・GIS 研究会（担当 藤原）

〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 5 丁目 6-1 ストックマンション札幌 507 号室

TEL 011-374-6836 FAX 011-299-5070 E-mail: tatsuya.fujiwara@gmail.com

参加申込書

申込み先：産学官 CIM・GIS 研究会 事務局：（担当：藤原）

FAXにてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信してください。

FAX：011-299-5070

E-mailにてお申込みの場合は、必要事項を記入して送信してください。

E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com

電話にてお申込みの場合は、下記番号におかけ下さい。

Tel：011-374-6836

2016年8月4日（木）の「第9回産学官 CIM・GIS セミナー」に参加します。

所属（会社）名	役職名	氏名

申込み期限：2016年8月2日（火）

【ご担当者】

所 属：_____

ご担当者：_____

住 所：_____

Tel: _____

E-mail: _____

注1 ・E-mailアドレスをお持ちの方は、連絡を行う場合がありますので必ずご記入お願いします。

注2 ・情報につきましては、当研究会の連絡以外に使用いたしません。

平成28年7月1日

各 位

特定非営利活動法人Digital北海道研究会
酪農学園大学
(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部 情報委員会
(一社)建設コンサルタンツ協会 情報部会 ICT委員会 ICT普及専門委員会
産学官CIM・GIS研究会

GIS講習会開催のお知らせ

Digital北海道研究会では、酪農学園大学、(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部情報委員会、(一社)建設コンサルタンツ協会情報部会ICT委員会ICT普及専門委員会と共催でGIS講習会を開催しております。

この講習会は、技術者がGISを実業務に適用するための方法を考えられるようにすることを目的としています。実際にパソコンを操作しながら、実際の業務にGISツールをどのように適用するのかを修得して頂くことを目的としております。

以下の開催要領を熟読の上、ご参加下さるようお願いいたします。

開 催 内 容

1. 講習会対象者

【初級編】

- ・GISに興味のある技術者や業務に適用したいが適用方法がわからない技術者

【中級編】

- ・初級編受講者または、同等の知識のある方

2. 開催予定

開催日	内容	場 所	募集人員	費用
8月8日(月)	ArcGIS10.3 初級編	酪農学園大学 PC4 教室	20名	会員 5,000 円 非会員 10,000 円
8月9日(火)	ArcGIS10.3 中級編	酪農学園大学 PC4 教室	20名	会員 5,000 円 非会員 10,000 円

3. 講習スケジュール (予定)

	8/8 (月) 初級編	8/9 (火) 中級編
9:45~10:00	受付	
10:00~12:00	講習	
12:00~13:00	昼休み	
13:00~17:00	講習	

※適宜、講習の進行具合を見ながら休憩を入れます。

4. 使用パソコン、ソフトについて

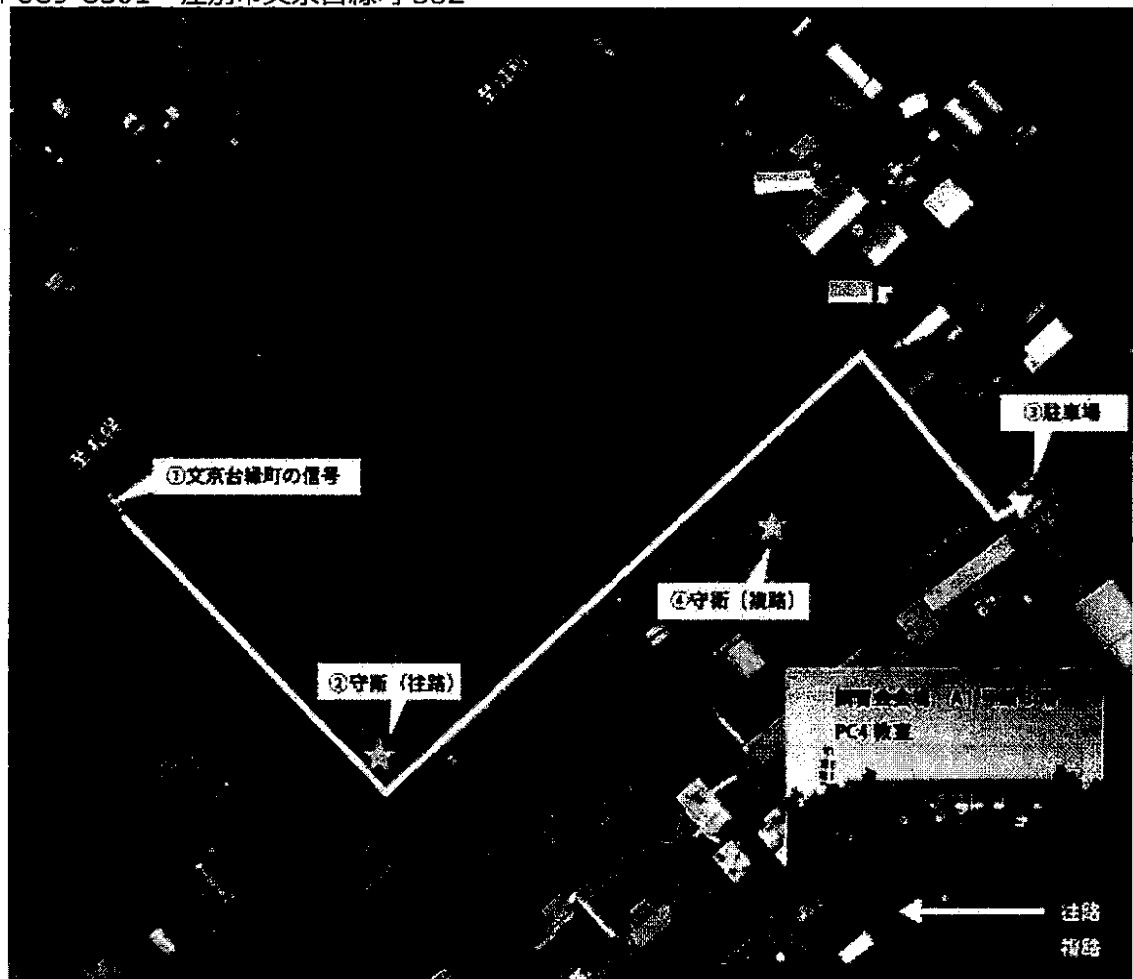
会場の酪農学園大学の設備を利用しますので、パソコンは持参不要です。ソフトはESRI社 ArcGIS10.3 for Desktopを使用します。

5. 講習会申込み方法等

Digital北海道研究会のホームページ (<http://dghok.com/event/1738.html>)
のフォームよりお申込みください。

6. 講習会会場までのアクセス

会場：酪農学園大学 A1号館3階PC4教室
〒069-8501 江別市文京台緑町 582



※自家用車でお越しの方は、①文京台緑町の信号で曲がり、構内を進み、②守衛（往路）で駐車許可証をもらい、A1号館横の③駐車場に停めて下さい。お帰りの際は、④守衛（復路）で、駐車許可証を渡してお帰り下さい。

※バス等交通機関については、以下のアドレスを参照して下さい。

<http://www.rakuno.ac.jp/outline/guide/bus.html>

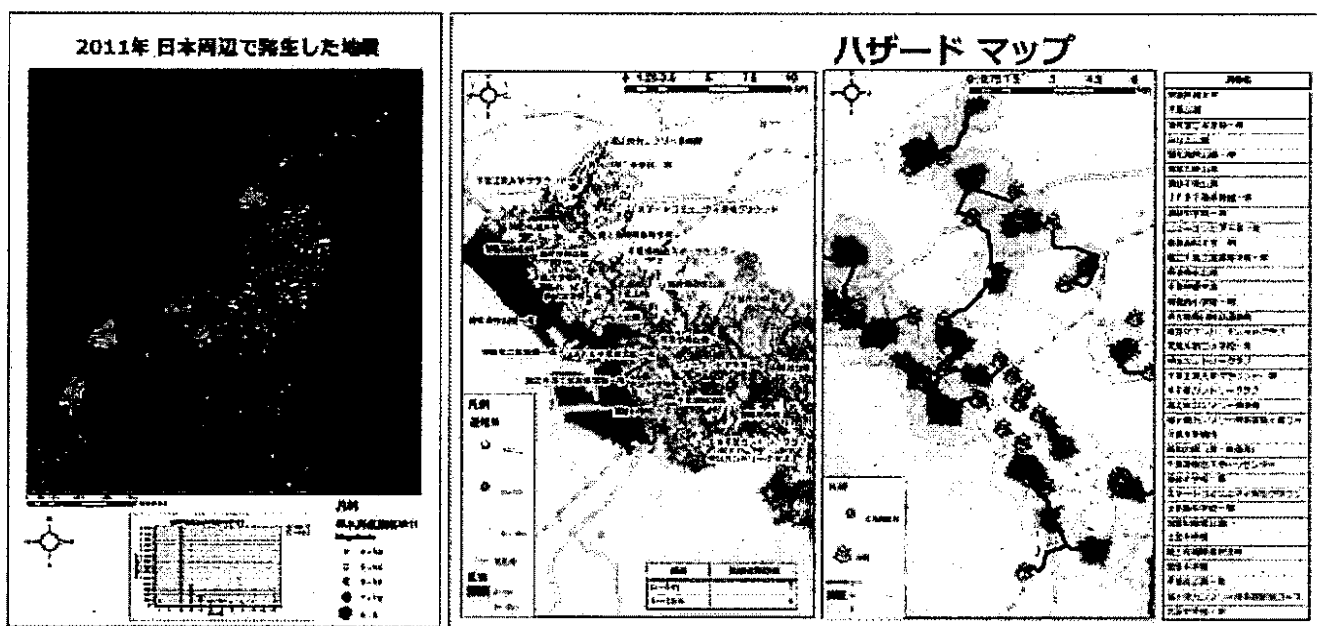
【講習概要】 ArcGIS for DESKTOP(Basic)(旧名 ArcView) 初級・中級編

■ 初級編

これまで GIS を使った事が無い技術者を対象に、GIS の概念やソフトの機能等を講習します。パソコンを使って講師の操作説明に従って操作し、データの取り込みや、作成、分析、綺麗な地図の出力などの、基本的 GIS 操作を学ぶことができます。

■ 中級編

中級編では、より実践的な GIS 操作を学びます。モデルビルダーの使い方、エクステンションの SpatialAnalyst を利用した分析の実習を行います。この講習は初級編の技術レベルを習得している方が対象です。



■ ArcGIS for DESKTOP の特徴

ArcGIS for DESKTOP は、世界で最も普及しているデスクトップ GIS ソフトウェアで、世界中で 50 万を超えるユーザに 利用されています。ArcGIS for DESKTOP は、社会に存在する様々な情報と空間情報を統合して、わかりやすく表現、検索、管理、解析、編集を行うための強力なツールを提供しています。詳細は以下の HP にて確認してください。

<http://www.esri.com/products/arcgis/desktop/arcgis-for-desktop/details/>

注意) 従来、ArcView、ArcEditor、ArcInfo と呼ばれていた製品は、ArcGIS for Desktop Basic (旧 ArcView)、Standard (旧 ArcEditor)、Advanced (旧 ArcInfo) と名称が変更されました。

以上



- when it has to be right



2016年7月

各位

産学官 CIM・GIS 研究会
ライカジオシステムズ株式会社

ライカジオシステムズが提供する地理空間ソフトウェア
ソフトウェア LISTECH Neo ハンズオンセミナーのお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、弊社では LISTECH 社 LISTECH Neo の日本正式発売に先駆けて産学官 CIM・GIS 研究会の会員様向けに地理空間ソフトウェア Neo の製品紹介およびハンズオントレーニングを開催することとなりました。Neo は増大する 3D 計測、3D モデリング、3D 設計、3D イメージング、GIS、CIM、i-Construction の分野においてそのストレスレスなデータ高速処理、シームレスなデータ転送を容易に達成する最新のソフトウェアです。

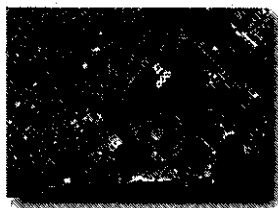
是非ともそのユーザーフレンドリーなデータ処理、編集機能、多様性と接続性をお楽しみ頂きたく本セミナーへのご参加をお待ちしております。

敬具

開催概要

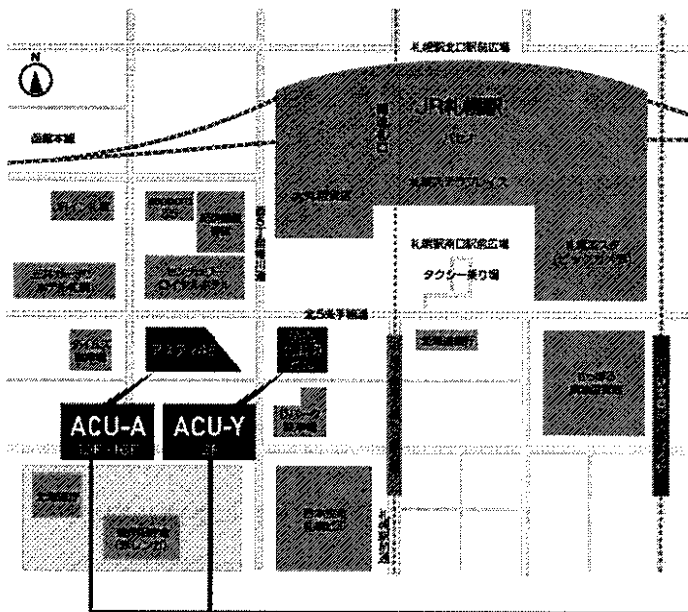
- セミナー内容： - LISTECH 社の紹介と LISTECH Neo 製品概要およびハンズオントレーニング
- Leica Captivate TS との 3D 連携ソリューション
- 日 時： 2016 年 8 月 26 日 (金) 10:00 a.m. - 4:00 p.m. (9:30 a.m. 受付開始)
- 会 場： ACU-A 中研修室 1613
(住所： 札幌市中央区北 4 条西 5 丁目アスティ 45 ビル 16F)
- スケジュール：

9:30 - 10:00	受 付	
10:00 - 10:10	ご挨拶	ライカジオシステムズ株式会社 代表取締役 日比 孝典
10:10 - 10:50	LISTECH 社 会社紹介および製品説明 (通訳あり)	John Damina General Manager, LISTECH
10:50 - 11:45	LISTECH Neo 基本機能の説明とセットアップ	ライカジオシステムズ株式会社 サーベイ&コンストラクション営業部 サーベイ営業課 主任 新井 一雄
11:45 - 13:00	昼食	
13:00 - 14:30	Neo ハンズオンセミナー Part 1 - イメージインターセクションによる 3D モデル作成 - Captivate MS60 による計測点群データ後処理 - データインポートとエクスポート - 3D スキャナーの点群データ処理機能	ライカジオシステムズ株式会社 新井 一雄
14:30 - 14:40	休憩	
14:40 - 15:40	Neo ハンズオンセミナー Part 2 (Video と共に) - BIM データ (IFC) インポート - BIM から Captivate TS へ - Geo レファレンスイメージ - イメージコネクト - GIS プロセス & データ転送 - 地形モデリング	ライカジオシステムズ株式会社 新井 一雄
15:40 - 16:00	質疑応答	
16:00 -	閉会のご挨拶	
- お申込みについて： 参加費用 一般 8,000 円、産学官 CIM・GIS 研究会会員 4,000 円
参加費振込先：北洋銀行 北 7 条支店 (普) 4034121 産学官 CIM・GIS 研究会
申込み締切：2016 年 8 月 22 日 (月)
問い合わせ先：産学官 CIM・GIS 研究会 事務局 藤原
TEL. 011-374-6836 FAX 011-299-5070 E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com
- 持参いただくもの： PC (可能ならメモリ 8G 以上)、お名刺、筆記用具
- お問合せ先： 産学官 CIM・GIS 研究会 事務局 藤原
TEL. 011-374-6836 FAX 011-299-5070 E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com
ライカジオシステムズ株式会社 営業支援本部 小林
Tel.: 03-5940-3019
- 共催： 産学官 CIM・GIS 研究会、ライカジオシステムズ株式会社



8月26日(金) (9:30 受付開始)

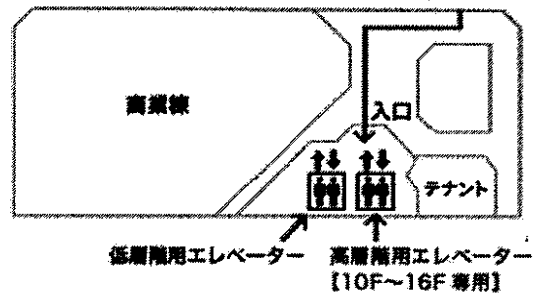
ACU-A 中研修室 1613 札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45ビル16F



ACU-A(アスティ45)の1階フロアのご案内

JR札幌駅南口よりオフィス横エレベーターホールにお入り下さい。
高層階用エレベーターで12階・16階にお上がりください。
低層階用エレベーター・エスカレーターは、12階・16階には止まりませんのでご注意ください。

出入口利用時間: 午前7:00~午後23:00



【最寄駅】

- JR札幌駅南口より 徒歩5分

お問合せ先

参加申し込み関係

産学官 CIM・GIS 研究会 事務局 藤原

TEL: 011-374-6836

研修関係

ライカジオシステムズ株式会社 営業支援本部 小林

TEL: 03-5940-3019

参加申込書

申込み先：産学官 CIM・GIS 研究会 事務局：(担当：藤原)

FAXにてお申込みの場合は、下記参加申込書に必要事項を記入し送信してください。

FAX：011-299-5070

E-mailにてお申込みの場合は、必要事項を記入して送信してください。

E-mail:tatsuya.fujiwara@gmail.com

電話にてお申込みの場合は、下記番号におかけ下さい。

Tel：011-374-6836

2016年8月26日(金)の「ソフトウェアLISTECH Neo ハンズオンセミナー」に参加します。

所属(会社)名	役職名	氏名

申込み期限：2016年8月22日(月)

【ご担当者】

所 属：_____

ご担当者：_____

住 所：_____

Tel: _____

E-mail: _____

Geo spatial
G空間EXPO 2016
 地理空間情報科学で未来をつくる



11/24 25 26
 土 金 土

みんな『G空間』の中にいる。

11/24 25 26
 土 金 土

日本科学未来館 東京・お台場 東京都江東区青海2-3-6
 [開催時間] 10:00~17:00 入場無料 常設展示をご覧いただくには入館料が必要です

G空間EXPO 2016 公式WEBSITE
www.g-expo.jp



G空間 検索

主催：G空間EXPO 2016 運営協議会 / 公益社団法人日本測量協会、一般社団法人全国測量設計業協会連合会、一般社団法人日本測量機器工業会、公益財団法人日本測量調査技術協会、一般財団法人衛星測位利用推進センター、gコンテンツ流通推進協議会、一般社団法人地理情報システム学会、内閣官房、内閣府宇宙開発戦略推進事務局、国土交通省国土政策局、国土交通省国土地理院、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構

■共催：日本科学未来館、一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会

■後援：東京都港湾局

(2016年7月1日現在)

申請中

みんな「G空間」の中にいる。

最先端の技術を見て、触れて、学べる3日間

「G空間(情報)」とは、将来が期待される重要科学技術分野の一つである「地理空間情報技術」(=Geospatial Technology)の頭文字のGを用いた、「地理空間(情報)」の愛称です。
 ※一部、事前登録制のものもございます。あらかじめご了承ください。

G空間EXPO2016

メッセージゾーン



G空間社会の仕組みを知って日本の未来を体感しよう!

「G空間社会って何?」という疑問にお答えするため、G空間EXPOの導入部として、私たちの身近にあるG空間情報を利用している製品やサービス等を紹介するとともに、これらを支える仕組み等を分かりやすく説明します。また、G空間社会を牽引する各界のプレーヤーや、多彩なゲストによるさまざまなステージプログラムや体験アクティビティを実施します。

G空間EXPO2016

地理空間情報フォーラム



最新のテクノロジーを見て触れよう!

企業・団体・機関等の展示・体験イベント等により、日本のG空間社会を支える最先端の技術やサービス等を紹介。出展各者による高度で専門的な展示を通じ、G空間社会についてもっと知りたいといった一般の方々や、情報収集を目的としたビジネス層のニーズに対応します。

G空間EXPO2016

Geo アクティビティ コンテスト



未来につながるアイデアを、見に行こう!

G空間情報を使った、ユニークなアイデアや製品、技術、サービスなどについて、展示や発表を行う場です。プレゼンターは、公募により選ばれた、研究者を始めとする個人の方、また民間企業・NPO・行政機関のグループなど。参加者や来場者などが出会い、新たなアイデアが生まれる場を提供します。

G空間EXPO2016

Geo エデュケーションプログラム



G空間情報で変わる教育や暮らしを体験しよう!

いまやタブレットやスマートフォンなどにも組み込まれているGPS、そうしたG空間情報が生活の間近にあることを体験できるプログラムが充実。教育関係者や自治体職員向けの研修会やワークショップなども開催します。

G空間EXPO2016

講演シンポジウム

G空間社会を支える技術探求と動向を聞きに行こう!

G空間社会への理解を深めるための講演・シンポジウムから、G空間社会を支える最新情報や研究成果発表、業界・技術動向の紹介など、関係各団体によりさまざまなプログラムを実施します。



会場 アクセス 日本科学未来館

〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 Tel: 03-3570-9151

■ 新交通ゆりかもめ (新橋駅~豊洲駅)

「船の科学館駅」下車、徒歩約5分、「テレコムセンター駅」下車、徒歩約4分

■ 東京臨海高速鉄道りんかい線 (新木場駅~大崎駅)

「東京テレポート駅」下車、徒歩約15分



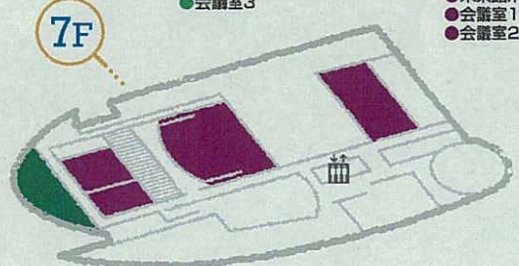
フロアマップ

Geoエデュケーションプログラム

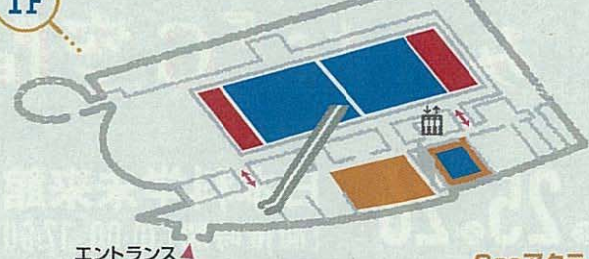
●会議室3

講演・シンポジウム

- イノベーションホール
- 未来館ホール
- 会議室1
- 会議室2



1F



エントランス

地理空間情報フォーラム

- 展示:
- 企画展示ゾーンa-b
 - ベンチャーフォーラム(11月24日)、学生フォーラム(11月26日):
 - 多目的ルーム

G空間EXPO メッセージゾーン

- テーマ展示・メインステージ:
- 企画展示ゾーンa-b

Geoアクティビティ コンテスト

- 展示:
- コミュニケーションロビー
 - プレゼンテーション(11月25日)
 - 多目的ルーム
- 表彰(11月26日):
- 企画展示ゾーンb(メインステージ)

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
平成 28 年度 第 1 回情報共有会合議事概要

1. 日時：平成 28 年 5 月 23 日（月）15:00～16:40
2. 場所：札幌第 1 合同庁舎 10F 共用第 1 会議室
3. 出席者 32 名
北海道運輸局、北海道開発局（8 名）、北海道地方環境事務所、北海道（4 名）、札幌市、北海道立総合研究機構（2 名）、北海道測量設計業協会、建設コンサルタツツ協会北海道支部、北海道 GIS・GPS 研究会、北海道 GIS 技術研究会、日本写真測量学会北海道支部、Digital 北海道研究会（2 名）、北海道高度情報化農業研究会、北海道大学、酪農学園大学（2 名）、国土地理院（4 名）
4. 議事
 - (1) 情報共有会合について（設置の経緯 ほか）
 - (2) イベントカレンダーの運用について
 - (3) 話題提供
 - ・ サッポロオープンデータ GIS 大賞の報告（Digital 北海道研究会）
 - ・ 地理院地図の改良について（国土地理院北海道地方測量部）
 - ・ 熊本地震における国土地理院の対応について（国土地理院北海道地方測量部）
 - (4) 人のネットワークづくり
 - (5) 情報共有会合で取り組む議題について（グループ討議）
 - (6) その他
5. 配付資料
 - (1) 事務局
 - ・ 議事次第・主席者名簿
 - ・ 地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会情報共有会合設立趣旨・設置要綱
 - ・ 平成 27 年度情報共有会合の実績
 - ・ イベントカレンダーの運用について
 - ・ 地理院地図の改良について
 - ・ 熊本地震における国土地理院の対応について
 - (2) 関係団体
 - ・ サッポロオープンデータ GIS 大賞 一連の行事を終えて（Digital 北海道研究会）
 - ・ 第 8 回産学官 CIM・GIS セミナーのご案内（産学官 CIM・GIS 研究会）
 - ・ 日本写真測量学会北海道支部 UAV 相談会/総会/春季特別講演会（日本写真測量学会北海道支部）

6. 議事概要

- (1) 事務局より、情報共有会合の設立経緯と趣旨について、説明を行った。
- (2) 事務局より、情報共有会合の参加機関・団体が予定しているイベントを集約したイベントカレンダーについて説明し、引き続きイベント情報の提供の依頼を行った。
- (3) 話題提供として、Digital 北海道研究会からサッポロオープンデータ GIS 大賞の報告を行った。国土地理院からは、地理院地図の改良と熊本地震における対応について報告を行った。

(意見・質問)

地理院地図の改良について、地理の必修化により GIS を教えるときに地理院地図が必要となるが、高校の地理の先生は変更があるとなかなかついていけないので、改良版とは別に古い環境の地理院地図も使えるように残しておいてほしいとの意見があった。

- (4) 3つのグループに分かれ、自己紹介のあとグループ討議を行った。グループ討議では、3グループに分かれて情報共有会合で取り組む課題等について討議を行い、各グループより概要を報告した。

○A グループの報告概要

- ・地理院地図は防災訓練で活用されている。
- ・CIMでは3次元の情報を扱うので地理院地図も3次元の場面で使いやすくなるのはよい。ガイドラインができることにより CIM がわかりやすくなるとうい。
- ・CIMや i-Construction の関係で UAV の活用に関する期待が高い。
- ・Digital 北海道研究会が UAV の訓練場所などを検討している。日本写真測量学会北海道支部の講演でも紹介したい。
- ・UAV の測量において、業界でも効率性、制約条件の精査、精度の検証などが急務である。

○B グループの報告概要

- ・積雪や植生がある場合、UAV の公共測量マニュアルの精度が満たせるかどうか。
- ・SfM/MVS のソフトはどれがよいか。
- ・CIMは少子化の問題解決の呼び水として期待している。
- ・農業分野で肥料や農薬散布などの活用事例も知りたい。

○C グループの報告概要

- ・公開されている情報のフォーマットや公開に使用するサーバーなどの仕組みについて事例紹介などを通じて情報共有したい。
- ・地理空間情報を整備する際の精度管理のしかたを教えてほしい。
- ・精度を必要としない UAV の作業のマニュアルなどがあれば紹介してほしい。また、用語解説集があればよい。

- (5) 第8回産学官 CIM・GIS セミナー及び日本写真測量学会北海道支部の UAV 相談会/総会/春季特別講演会の案内があった。次回の会合は7月の予定。